

平成29年度自殺対策強化月間の取組（案）

1 京都いのちの日シンポジウム

(1) 趣旨

悩み苦しむ人を孤立させず、暖かく包み込む共生社会の実現に向け、府民が自らの命を見つめ直すとともに、周りの人にも思いをはせ、共に生きることの意味や絆の大切さについて今一度立ち止まって考えるきっかけを提供し、府民の自殺対策に関する関心と理解を深めるとともに、社会全体で自殺対策が推進されるよう気運を醸成する。

(2) 日時・会場

平成30年3月1日(木)（第3回目の京都いのちの日） 午後1時30分から4時まで
龍谷大学アバンティ響都ホール（京都市南区）

(3) 内容

ア 基調講演

「生きづらさからの脱却」

岸見一郎氏（哲学者）

イ パネルディスカッション

「大学生の私たちが知ってほしい自殺のハナシ」

岸見一郎氏

大学コンソーシアム京都「若者と自殺—いのちのリレー講座」を受講している学生
河瀬雅紀 氏（京都ノートルダム女子大学現代人間学部教授）（コーディネーター）

(4) 定員等

350名・参加無料

2 その他

「京都いのちの日」シンポジウムを皮切りに、様々な取組を3月の自殺対策強化月間に集中的に実施（ゲートキーパー交流会、くらしとこころの総合相談会）など